

ROAD TO 2017

進路室の使い方

進路室には、各大学の過去問をはじめ、各大学の案内、先輩たちが残してくれた受験報告書などのたくさんの資料があります。進路室を有効に利用することが進路実現（夢への実現）の第一歩です。ぜひ進路室に足を運んでください。進路室には教員も在中していますので、進路のことで分からないことや聞きたいことがあったら積極的に相談しに来て下さい。

1. 進路室にあるもの

- ・赤本などの各大学の過去問
- ・全国大学入試問題
- ・受験報告書
- ・学校案内などやパンフレット
- ・情報検索のためのタブレット など

2. 進路室利用上の注意

- ・服装や身だしなみを整えて、挨拶をしてから入室してください。（大学関係者など外部の方も見えになります）
- ・資料の閲覧は自由ですが、一部できないものもあるので必ず声をかけて下さい。また、進路室にある資料はすべて持ち出し禁止です。
- ・閲覧した資料は必ず元の位置に戻してください。
- ・進路室に置いてあるものは皆さんの共有物です。大切に扱ってください。
- ・進路室にある資料（赤本など）のコピーは1枚10円でできます。それ以外のコピーは禁止です。
- ・大きな鞆・バッグを持ち込まないで下さい。
- ・もちろん飲食は厳禁です。

☆模試の受け方、★模試結果の見方、☆多夏休み終了時点までの過ごし方

☆☆大切なのは、解けなかった問題が数ヵ月後に解けるようになっているかです！

模試の結果が返ってきて最も注目してもらいたいのは「内容」です。偏差値などの数値的なところに目を向けるよりも、内容面に目を向けることを心がけてください。これは受験生にとって最も難しいことですが、合格へつながら一番の方法だと思ってください。

模試が返却されたときは、点数や順位よりも各科目の分野ごとの成績に注目し、自分の弱点分

野発見に活用して下さい。その他、模試からわかった自分の苦手・得意を参考に、今後の学習計画を立案、修正していく指針として下さい。

解けなかった問題をスクラップブックに集めていて、夏休みに入ったらすぐに再度解いてみよう。自分の学力が本当に上昇しているかが一目でわかります。身につかない勉強ならやっても辛いだけです。自分だけの「重要問題集」を作成してみましょう。これだけで随分変わります。

1. 模試を受けるメリット

- ・自分の位置がわかる
- ・勉強の進み具合が確認できる
- ・勉強したことをきちんとアウトプットできるかを確認することができる
- ・自分の弱点を知り、その後の勉強に生かすことができる
- ・ペースメーカー（短期目標）にすることで、よりよい勉強計画が立てられる
- ・問題の傾向がわかる
- ・答案用紙の作り方を学べる
- ・問題を解く順番やペースなどがわかる
- ・試験慣れすることで実力が出せるようになる など

2. 模試の判定は気にしない。意識すべきは自分の弱点

模試戦略を立てて計画的に勉強を進めているのであれば、入試までの行程がしっかり見えているはずで、今後成績は必ず伸びていくので、今現在の模試の偏差値や判定を気にする必要はまったくありません。重要なのは戦略的に勉強を進めることと、発見された弱点を確実にフォローしていくことにつきます。なぜその勉強をするのか、その意味をしっかり意識して学習しましょう

☆多夏休み終了時点までに、学習した全範囲の基礎・標準レベルは復習を終えることが出来るかどうか、これが現役第一志望大学合格の秘訣です。

これが出来たかどうかでその年の受験結果が占えるとよく言われています。2学期の時期からは全ての教科において問題演習、つまり入試問題の実践レベル演習が始まりますので、そこまでに基礎が出来ていなければ、世の中の精鋭の受験生についてはいけません。

これを実現するために、夏休み終了時点までに行なうことを「逆算」し、計画を立て直しましょう。時間がないことはすぐにわかりますね。